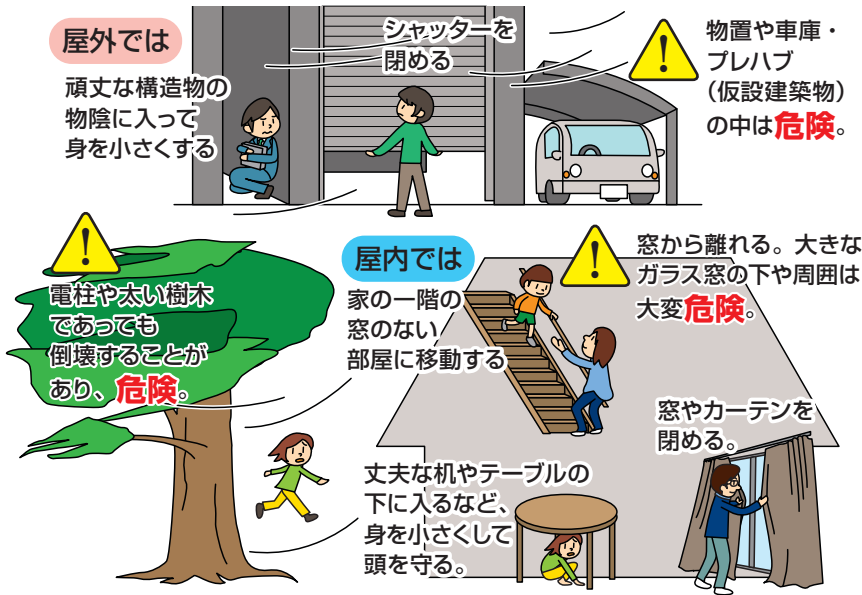


「竜巻」とは、積乱雲に伴う強い上昇気流により発生する激しい渦巻きで、多くの場合、漏斗状または柱状の雲を伴います。台風などによる災害と比べると、局所的ですが、その猛烈な突風による破壊力はすさまじく、プレハブなど建物をばらばらにしてしまう破壊力を持っています。

竜巻が間近に迫ったら…

すぐに身を守るための行動をとってください。



こんな変化を見逃すな !!

竜巻の発生するような発達した積乱雲が近づく兆し

- 真っ黒い雲が近づき周囲が急に暗くなる。
- 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- 大粒の雨やヒョウが降り出す。

竜巻について、もっと知りたいときは、
気象庁竜巻ポータルサイトで

気象庁 竜巻ポータルサイト

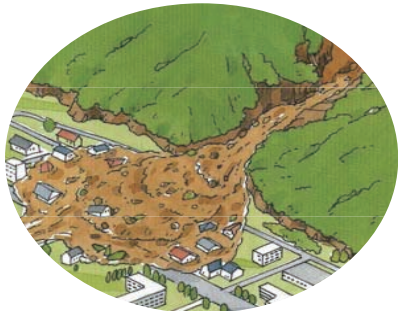
14 土砂災害から身を守る

土砂災害のタイプ

静岡県は、県土のおよそ70%を急で険しい山地がしめ、その上、岩や土がもろくて崩れやすい地質が広く分布しているため、土石流・地すべり・がけ崩れによる土砂災害のおそれのある危険な箇所が数多くあります。

どせきりゅう 土石流

山や谷（渓流）の土、石、木などが、大雨や長雨等による水と一緒になって、すごい勢い（およそ時速40～50km）で流れてくるものをいいます。



じ 地すべり

大雨や長雨等により雨水が地面にしみこみ、地下水の力によって持ち上げられた地面が、広い範囲にわたり徐々に動きだすものをいいます。



くず きゅうけいしゃち ほうかい がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

急傾斜地（傾斜の角度30度以上で高さが5m以上の地形）において、大雨や長雨などにより雨水が地面にしみこみ、緩んだ“がけ”が、とつぜん崩れ落ちるものをいいます。地震で起こることもあります。



土砂災害の前ぶれには次のようなものがあります

土石流

- 急に川の水が濁り流木が混ざる
- 山鳴りがする
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

地すべり

- 沢の水や井戸水が濁る
- 斜面から水がふき出す
- 地面にひび割れができる

がけ崩れ

- がけから水がわき出している
- がけから小石がバラバラと落ちる
- がけに亀裂ができる